

3. 甲殻類

甲殻類というと、エビ・カニ・ヤドカリの仲間が一般的ですが、他にシャコやフジツボ、フナムシの仲間、またプランクトンであるケンミジンコの仲間や海草や海底に生息するワレカラヨコエビといった顕微鏡的な仲間も含まれます。

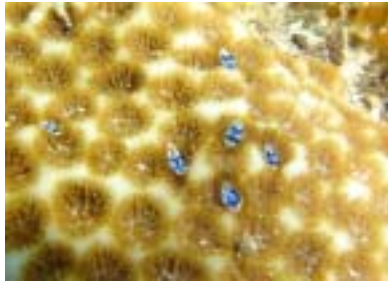
泡瀬地区では、エビ・カニ類を中心に比較的大きく目に付きやすい甲殻類がこれまでに 154 種確認されています。主に干潟域や汽水域、藻場や周辺の浅海域で見られたものです。中でもカニ類が多く 103 種が記録されています。

大型のカニとしては、ワタリガニ（ガザミ）の仲間がみられます。マングローブ帯やそこに通じる水路ではアミメノコギリガザミ、干潟域の転石下にはミナミベニツケガニ、藻場付近の砂地にはタイワンガザミがよくみられ、食用とするためカニ籠で採取している人も見受けられます。

干潟の砂地にはミナミコメツキガニが集団で生息します。これらは、干潮時に盛んに干潟表面の有機物を食べ、残りの砂を砂ダンゴとして捨てていくため、汚染浄化にも役立っていると考えられています。干潟には他にツノメチゴガニ、オキナワハクセンシオマネキ、ヒメシオマネキ等も多く生息し、これらは繁殖期に求愛行動としてハサミを振るユニークな行動が有名です。

貴重種としては、オキナワヤワラガニが岸近い干潟の転石下にみられ、事業に伴って生息状況の監視調査が行われています。

3. 甲殻類



ルリツボムシ

フジツボ目 サンゴツボ科

Berndtia purpurea

大きさ: 開口部0.3cm。

特徴: サンゴ類に潜り込んで生活するフジツボ。きれいな濃い瑠璃色をしている。

分布: 本州中部以南。

サンゴ礁



ミナミクロフジツボ

フジツボ目 クロフジツボ科

Tetracrita squamosa

大きさ: 直径2～4cm程度。

特徴: 富士山のようなきれいな円すい形をしたフジツボ。表面はザラザラしており、殻の色は濃い緑色。

分布: 本州中部以南。

干潟



シロスジフジツボ

フジツボ目 フジツボ科

Balanus albicostatus

大きさ: 直径1～1.5cm程度。

特徴: 青紫色の地に白いの太い筋をもつフジツボ。殻の口は大きくゴツゴツしている。

分布: 陸奥湾～沖縄県。

干潟



タテジマフジツボ

フジツボ目 フジツボ科

Balanus amphitrite

大きさ: 直径1～1.5cm程度。

特徴: 白色の地に青紫色の筋をもつフジツボ。殻の口は大きくあまりゴツゴツしない。

分布: 東京湾～沖縄県。

干潟

3. 甲殻類



オトヒメエビ

エビ目 オトヒメエビ科

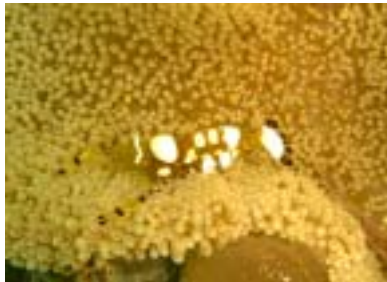
Stenopus hispidus

大きさ: 全長6cm。

特徴: 白地に赤い帯状の模様がある。大型の魚の体を掃除したりする。

分布: 房州以南の太平洋岸: 熱帯
インド太平洋・カリブ海・バミューダ沿岸。

サンゴ
礁



イソギンチャクカクレエビ

エビ目 テナガエビ科

Periclimenes brevicarpalis

大きさ: 全長2cm。

特徴: 体は透明で白色の斑点が散らばる。尾には黒く縁取られた黄色の斑点が4つある。イソギンチャクに共生している。

分布: 房総半島以南: インド・西太平洋、
紅海。

藻場



マングローブテッポウエビ

エビ目 テッポウエビ科

Alpheus euphrosyne richardsoni

大きさ: 全長5cm。

特徴: イソテッポウエビに似るが脚の先がツメ状ではなく、ヘラ状になり、尾の先が太い。泥場に多い。

分布: 沖縄以南: 熱帯、インド・太平洋。

干潟



ハサミシャコエビ

エビ目 ハサミシャコエビ科

Laomedea astacina

大きさ: 全長5cm。

特徴: はさみの大きさは左右ほぼ同じ。全身がにぶいオレンジ色をしている。テッポウエビ等に似るが、動きはにぶく、後ろに跳ねたりしない。

分布: 関東以南。

干潟

3. 甲殻類



ツメナガヨコバサミ

エビ目 ヤドカリ科

Clibanarius longitarsus

大きさ: 前甲長1cm。

特徴: 全身が一見濃い緑色だが、よく見ると脚に縞模様がある。脚の爪の部分が長い。マングローブ林や河口域の水の中で見られる。

分布: 日本の暖温帯、熱帯西大西洋・インド洋。

汽水



ツマジロサンゴヤドカリ

エビ目 ヤドカリ科

Calcinus latens

大きさ: 前甲長0.4cm。

特徴: ハサミは左がやや大きい。脚の色はオリーブ色で、脚の先が白いため「つまじろ」と呼ばれる。サンゴ礁に普通に生息する。

分布: 房総半島以南:熱帯西太平洋、インド洋。

サンゴ礁



コモンヤドカリ

エビ目 ヤドカリ科

Dardanus megistos

大きさ: 前甲長2.5cm。

特徴: 大型のヤドカリ、ハサミは左が大きい。脚は赤く、毛が生えている。体中に黒く縁どられた白点が散らばり、他のヤドカリと見分けやすい。

分布: 紀伊半島以南:インド洋・熱帯太平洋。

藻場



オカヤドカリ

エビ目 オカヤドカリ科

Coenobita cavipes

大きさ: 甲長3cm。

特徴: 陸上にすむヤドカリの仲間で全身は濃い茶色。眼の色は全体が黒っぽい。ハサミの先端が白くなる。海岸近くの林の奥等にもすむ。

分布: 小笠原諸島・沖縄諸島:インド・西太平洋。

希少性: 天(国)

陸域

3. 甲殻類



ムラサキオカヤドカリ

エビ目 オカヤドカリ科

Coenobita purpureus

大きさ: 甲長3cm。

特徴: 陸上にすむヤドカリの仲間で全身は紫色やクリーム色。眼の色は先端だけ黒い。海岸の砂浜でよく見られる。

分布: 鹿児島県以南、小笠原諸島:北マリアナ諸島。

希少性: 天(国)

陸域



ナキオカヤドカリ

エビ目 オカヤドカリ科

Coenobita rugosus

大きさ: 甲長1.5cm。

特徴: 陸上にすむヤドカリの仲間で全身は薄い茶色や灰色。眼の色は先端と真ん中の下の方が黒い。海岸の砂浜でよく見られる。

分布: 南紀～沖縄諸島、小笠原諸島:インド・西太平洋。

希少性: 天(国)

陸域



ソデカラッパ

エビ目 カラッパ科

Calappa hepatica

大きさ: 甲長4.4cm。

特徴: 体は横長で、薄いオリーブ色。表面には小さなコブがある。変わった形のハサミをしていて、つかまえると箱のように丸まる。ハサミは缶切り状に適應し、主に巻貝を食べる。

分布: 相模湾～沖縄諸島。

藻場



オキナワヤワラガニ

エビ目 ヤワラガニ科

Neorhynchoplax okinawaensis

大きさ: 甲長0.5cm。

特徴: 小さなカニで、体は薄い茶色で、形は三角形。ハサミは他の脚に比べて非常に短い。泥の上の転石をひっくり返すとよく見られる。

分布: 沖縄本島、石垣島、西表島。

希少性: VU(沖)

干潟

3. 甲殻類



イッカクガニ

エビ目 クモガニ科

Menaethius monoceros

大きさ: 甲長1.7cm。

特徴: 体は小さく、先の長い五角形をしている。色彩は緑色や黒いまだら模様等色々ある。サンゴ礁や浅い海岸にすむ。

分布: 房総半島以南～沖縄諸島:インド、西太平洋、ハワイ諸島。

藻場



タイワンガザミ

エビ目 ガザミ科

Portunus pelagicus

大きさ: 甲長7cm。

特徴: 砂場にすむカニで、体は横長、体の左右に大きなトゲが1本ある。ハサミは大きく、一番下の脚はヒレ状になっている。食用にされている。

分布: 相模湾以南の太平洋岸、山形県以南の日本海岸、沖縄諸島。

藻場



アミノコギリガザミ

エビ目 ガザミ科

Scylla olivacea

大きさ: 甲長20cm。

特徴: 泥場にすむ大型の緑のカニ。ハサミは大きく、一番下の脚はヒレ状になっている。体の縁はノコギリの様にギザギザしており、脚には網目模様が見られる。食用にされている。

分布: 琉球列島:東南アジア、オーストラリア、インド。

干潟



フタバベニツケモドキ

エビ目 ガザミ科

Thalamita admete

大きさ: 甲長1.4cm。

特徴: 転石の下部にすむやや小型のカニ。眼と眼の間がまっすぐであまりギザギザしない。眼の後ろの側縁に目立った4本のトゲがある。一番下の脚はヒレ状になる。食用にされている。

分布: 土佐湾以南:西太平洋、インド洋、紅海。

干潟

3. 甲殻類



ミナミベニツケガニ

エビ目 ガザミ科

Thalamita crenata

大きさ: 甲長5.1cm。

特徴: 転石の下等にすむ比較的大きなカニ。眼と眼の間がまっすぐでギザギザしている。眼の後ろの側縁に5本のトゲがある。一番下の脚はヒレ状になり、体に毛は生えていない。食用にされている。

分布: 奄美大島～八重山列島:台湾、インド-西太平洋。

干潟



ミナミベニツケモドキ

エビ目 ガザミ科

Thalamita danae

大きさ: 甲長3.5cm。

特徴: ミナミベニツケガニに似るが体全体が短い毛で覆われる。一番下の脚はヒレ状になる。体は緑色で毛の生えている部分がまだら模様に見える。食用にされている。

分布: 紀伊半島以南:インド、西太平洋。

干潟



スエヒロイボテガニ

エビ目 オウギガニ科

Actumnus setifer

大きさ: 甲長2.3cm。

特徴: 体の前は丸く、後ろはやや三角形。ハサミは大きく、先端が黒く、左右でやや大きさが違う。表面がツツツプしており、脚に短い毛がある。

分布: 房総半島～八重山列島:インド・西太平洋。

干潟

藻場



ヒメヒツメガニ

エビ目 オウギガニ科

Erisus electra

大きさ: 甲長0.9cm。

特徴: 小型のカニで体全体はやや丸い。目立った模様は無く、背中がゴツゴツする。体には毛が無く、脚は毛で覆われる。ハサミの先は平たい。

分布: 奄美群島～八重山列島:インド太平洋。

藻場

3. 甲殻類



ケブカガニ

エビ目 オウギガニ科

Pilumnus vespertilio

大きさ: 甲長1.7cm。

特徴: サンゴ礁の干潟の上ですむ。全身が長い毛に覆われており、他のカニと区別できる。

分布: 相模湾～沖縄諸島。

干潟



ヒライソガニ

エビ目 モクズガニ科

Gaetice depressus

大きさ: 甲長2.2cm。

特徴: 転石の下にすむ丸みのある四角い形のカニ。ハサミに毛は無く、先端はあまりとがらない。

分布: 北海道～沖縄諸島。

干潟



タイワンアシハラガニ

エビ目 イワガニ科

Helice formosensis

大きさ: 甲長2.5cm。

特徴: 体は丸く分厚い。薄茶色の薄いまだら模様をしており、ハサミは大きい。眼の下に小さな粒の列が1列ある。海岸の高い所の泥に穴を掘ってすむ。眼の下の粒の列とハサミをこすり合わせて音を出す。

分布: 沖縄諸島。

汽水



ハシリイワガニ

エビ目 イワガニ科

Metograpsus messor

大きさ: 甲長1.8cm。

特徴: 体はやや縦に長い長方形をしている。色はツヤのある黒色になり、青白い点が散らばる。脚の付根は太く長い。岩の上やマングローブの根元を走っている。

分布: 奄美大島以南。

干潟

3. 甲殻類



クイラハシリイワガニ

エビ目 イワガニ科

Metopograpsus latifrons

大きさ: 甲長18cm。

特徴: 体はやや縦に長い長方形をしている。色はツヤのある黒色になり、青白い点がない。ハサミは青紫色。

分布: 沖縄諸島。

干潟



フタバカクガニ

エビ目 イワガニ科

Perisesarma bidens

大きさ: 甲長2.5cm。

特徴: 体はほぼ四角形で、脚は長く付根が太い。背中は濃い茶色のまだら模様で、ゴツゴツしている。岩の下にすむ。干潟の上で石をひっくり返すと走り回るカニはこの種類。

分布: 東京湾～沖縄諸島:東南アジア沿岸。

干潟



ミゾテアシハラガニ

エビ目 イワガニ科

Sarmatium crassum

大きさ: 甲長1.4cm。

特徴: 体は非常に鮮やかな赤紫色をしており、他のカニと区別できる。長方形の形をしており、体は厚い。ハサミの上に溝が数本ある。

分布: 奄美大島～西表島:中国南部、ミクロネシア、インド洋。

希少性: NT(沖)

干潟



ミナミコメツキガニ

エビ目 ミナミコメツキガニ科

Mictyris brevidactylus

大きさ: 甲長1.6cm。

特徴: 体は薄い紫色で球形。カニの仲間だが前に歩く。干潮時に干潟でよくみられ、人が近づくと回転しながらすぐに泥に潜ってしまう。

分布: 種子島以南:台湾～南太平洋。

干潟

3. 甲殻類



ヒメヤマトオサガニ

エビ目 スナガニ科

Macrophthalmus banzai

大きさ: 甲長2.9cm。

特徴: 体は細長い長方形をしている。体の色は薄い茶色で、お腹は薄い黄色-オレンジ色。泥の上でハサミを上下に降る行動が見られる。泥干潟にすむ代表的なカニ。

分布: 和歌山県～西表島。

干潟



台湾ヒメオサガニ

エビ目 スナガニ科

Macrophthalmus boteltobago

大きさ: 甲幅0.8cm。

特徴: 他のオサガニの仲間より小さく、体は短い長方形。眼の後ろの側縁に目立ったトゲが2本ある。体は茶色。眼は太く体は毛で覆われている。

分布: 沖縄島。

希少性: NT(沖)

干潟



フタオサガニ

エビ目 スナガニ科

Macrophthalmus convexus

大きさ: 甲長1.5cm。

特徴: 体は細長い長方形。体の色は薄い灰色で、腹部は赤紫色となる。ヒメヤマトオサガニより砂の場所を好む。

分布: 琉球列島:インド・西太平洋。

干潟



メナガオサガニ

エビ目 スナガニ科

Macrophthalmus verreauxi

大きさ: 甲幅2cm。

特徴: 体は短い長方形で眼が長く、倒すと先端が体からはみ出す。他のオサガニの仲間と違い、干潟の上に出ずに水中で生活する。

分布: 伊豆半島以南、石川県以南。インド、南太平洋、紅海。

干潟

藻場

3. 甲殻類



コムツキガニ

エビ目 スナガニ科

Scopimera globosa

大きさ: 甲長0.9cm。

特徴: 体は丸く脚は横に張り出す。体の色は薄い茶色のまだら模様で、周りの砂と同じような色をする。ハサミは太く短い。砂の海岸を好み、干潟上に丸い砂団子をつくる。

分布: 北海道～沖縄諸島。

干潟



ツノメチゴガニ

エビ目 スナガニ科

Tmethypocoelis ceratophora

大きさ: 甲長0.5cm。

特徴: 非常に小さなカニで泥の上に穴を掘ってすむ。体の割にハサミが大きく白色で、干潟上でハサミを振る行動が観察される。眼の上に細い角があるのが特徴。

分布: 沖縄本島以南。

干潟



シオマネキ

エビ目 スナガニ科

Uca arcuata

大きさ: 甲幅1～3cm。

特徴: 体はツヤのある黒色で背中に白いまだら模様がある。オスのハサミは片方が大きく、オレンジ色をしており、粒が目立つ。

分布: 静岡県以南の太平洋岸、九州、沖縄中城湾・韓国、中国、台湾、香港。

希少性: NT(環)、CR(沖)

干潟



ベニシオマネキ

エビ目 スナガニ科

Uca crassipes

大きさ: 甲長1.4cm。

特徴: 体の色はさまざまであるが、基本的に赤とツヤのある黒の組み合わせ模様。大きさは小さく、オスのハサミの片方は大きい。最も高いところにすむシオマネキの仲間。

分布: 奄美大島以南。

干潟

3. 甲殻類



ヤエヤマシオマネキ

エビ目 スナガニ科

Uca dussumieri dussumieri

大きさ: 甲長1.6cm。

特徴: 体はツヤのある黒色で、背中から見るとくびれている。オスのハサミは片方が大きい。シオマネキより細長でオレンジ色となる。

分布: 沖縄本島以南。

干潟



オキナワハクセンシオマネキ

エビ目 スナガニ科

Uca perplexa

大きさ: 甲長1.1cm。

特徴: 体は細長い長方形で紺色の体に白色のしま模様がある。ハサミは細長く白色、ハサミのつけねは、黄色っぽく、オスのハサミは片方が大きい。

分布: 沖縄島～八重山列島:インド、太平洋。

干潟



ルリマダラシオマネキ

エビ目 スナガニ科

Uca tetragonon

大きさ: 甲長1.7cm。

特徴: 体は四角く、紺色で青の鮮やかな模様が広がる。ハサミはオレンジ色。小石の多いところにすむシオマネキの仲間。オスのハサミは片方が大きい。

分布: 沖縄諸島以南。

希少性: NT(沖)

干潟



ヒメシオマネキ

エビ目 スナガニ科

Uca vocans vocans

大きさ: 甲長1.5cm。

特徴: 体は四角く、くびれ等は目立たない。色は白や茶色等さまざま。ハサミは比較的大きく上は白く下はオレンジ色。沖縄で一番多いシオマネキの仲間。オスのハサミは片方が大きい。

分布: 沖縄諸島以南:台湾・フィリピン・マレー・パラオ諸島沿岸。

干潟